

【医薬品名】 エノキサシン水和物
トスフロキサシントシル酸塩水和物（経口剤）
パズフロキサシンメシル酸塩
塩酸ロメフロキサシン（経口剤）

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

[慎重投与] の項に

「重症筋無力症の患者」

を追記し、[副作用] の「重大な副作用（類薬）」の項に

「重症筋無力症の悪化：

他のニューキノロン系抗菌剤で重症筋無力症の悪化が報告されているので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。」

を追記する。

【医薬品名】メシル酸ガレノキサシン水和物

【措置内容】以下のように使用上の注意を改めること。

[慎重投与]の項に

「重症筋無力症の患者」

を追記し、[副作用]の「重大な副作用」の項に

「間質性肺炎、好酸球性肺炎：

発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常、好酸球増多等を伴う間質性肺炎、好酸球性肺炎等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。」

「重症筋無力症の悪化：

重症筋無力症の患者で症状の悪化があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。」

を追記する。

【医薬品名】 シタフロキサシン水和物
 プルリフロキサシン

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

[慎重投与] の項に

「重症筋無力症の患者」

を追記し、[副作用] の「重大な副作用（類薬）」の項に

「重症筋無力症の悪化」

を追記する。

【医薬品名】 シプロフロキサシン
塩酸シプロフロキサシン

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

[慎重投与] の項に

「QT延長を起こすおそれのある患者」

を追記し、[副作用] の「重大な副作用」の項の「中毒性表皮壊死症、皮膚粘膜眼症候群」の記載を

「中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN) 、皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson症候群) 、多形紅斑」

と改め、

「QT延長、心室頻拍 (Torsades de pointesを含む) :

QT延長、心室頻拍 (Torsades de pointesを含む) があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。」

を追記する。

【医薬品名】 スパルフロキサシン

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

[慎重投与] の項に

「重症筋無力症の患者」

を追記し、[副作用] の項に新たに「重大な副作用（類薬）」として

「重症筋無力症の悪化：

他のニューキノロン系抗菌剤で重症筋無力症の悪化が報告されているので、
観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置
を行うこと。」

を追記する。

【医薬品名】 ノルフロキサシン（経口剤）

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

[慎重投与] の項に

「重症筋無力症の患者」

を追記する。

【医薬品名】 ジダノシン

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

[重要な基本的注意] の項の乳酸アシドーシス、肝腫、肝障害に関する記載を

「本剤の投与により、乳酸アシドーシス、重度の脂肪肝を伴う肝腫、重篤な肝障害、門脈圧亢進症（非肝硬変性も含む）があらわれることがあるので、定期的に検査を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。なお、複数の妊婦において本剤とサニルブジンとの併用投与による致死性の乳酸アシドーシスが報告されているので、妊娠期間中の本剤とサニルブジンの併用投与は、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。」

と改め、[副作用] の「重大な副作用」の項の肝障害に関する記載を

「肝障害、門脈圧亢進症（非肝硬変性も含む）：

重度の脂肪肝を伴う肝腫、重篤な肝障害、門脈圧亢進症（非肝硬変性も含む）があらわれることがあるので、定期的に検査を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。」

と改める。

【医薬品名】ラルテグラビルカリウム

【措置内容】以下のように使用上の注意を改めること。

[副作用] の「重大な副作用」の項に

「横紋筋融解症、ミオパチー：

筋肉痛、脱力感、CK(CPK)上昇、血中及び尿中ミオグロビン上昇を特徴とする横紋筋融解症があらわれ、急性腎不全等の重篤な腎障害があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には直ちに投与を中止すること。また、ミオパチーがあらわれることがあるので、筋力低下、筋痛や著明なCK(CPK)の上昇があらわれた場合には投与を中止すること。」

を追記する。

【医薬品名】 トシリズマブ（遺伝子組換え）

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

[慎重投与] の項に

「白血球減少、好中球減少、血小板減少のある患者」

を追記し、[副作用] の「重大な副作用」の項の好中球数減少に関する記載を

「無顆粒球症、白血球減少、好中球減少、血小板減少：

無顆粒球症、白血球減少、好中球減少、血小板減少があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。」

と改める。